

京都産業大学

第14期卒業生の皆様へ

京都産業大学

学長 大城 光正

### 京都産業大学主催 同期会（第14期生の集い）の開催について（ご案内）

残暑の候、卒業生の皆様方には多方面にわたってご活躍のこととお慶び申し上げます。

また平素より京都産業大学の諸活動に、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学では創立者荒木俊馬先生の崇高な「建学の精神」を礎に、大学創立50周年を機に策定された「神山 STYLE2030」の「改革プラン」は、本学が希求する姿を実現するための実行計画を宣言したもので、既存学部・学科の編成あるいは関連領域を統合した新学部の設置を含め、2025年年度末までに学生数15,000人を擁する大学とするべく目標が謳われています。より質の高い教育や研究を社会に還元するための改革として、「教育・学生支援」、「研究改革」、「社会貢献・地域連携・ステークホルダー連携」という3領域において、具体的な実行計画をまとめたものです。そして、来るべき2030年も、本学が日本を代表する私立大学の一角を担う“選ばれる大学”として存在し、新しい価値をうみだすことによって、社会に貢献できる大学であり続けたいと願っています。

このような中で、2019年度入試の志願者総数は69,344名で、前年度比4,008名増加(+6.1%)で、4年連続の志願者増となりました。2018年度入試は開学以来、最多の志願者数でしたが、2019年度入試は更にそれを更新しました。しかしながら、今後は18歳人口の減少に加え、教育の質的保証を担保とするためには、経営基盤の強化が重要な課題になります。経営基盤をより強固にするためには、14万8千余名に及ぶ卒業生の応援・支援が、何よりも必要であります。これまでの本学の躍進は、卒業生の社会での活躍によって支えられてきたものであります。改めてお礼を申し上げる次第です。

最後に、本学では卒業生との絆を深めるために、毎年、神山祭期間中に「京都産業大学同期会」を開催しています。ご卒業されてから人生の節目となる還暦等を迎えられる皆様に、青春を過ごされた母校・京都産業大学に集い、懐かしい仲間等と語り合い、有意義な一時を、「京都産業大学同期会」でお過ごしくださいませ幸いです。当日は、皆様方にとっても思い出深い「神山祭」の真っ只中です。是非、仲間の同期生とお誘い合せの上、ご出席賜りますようご案内申し上げます。 ※本状は大学に住所登録をされています方に送付しています。

#### 第14期生の世話人として応援をしています！！

私たちは、京都産業大学に1978年4月に入学し、卒業後37年の歳月が流れ、今年は還暦の節目の年にあたります。このような時、京都産業大学による同期会（第14期生の集い）が企画され、11月3日（日）の神山祭の期間中に実施されます。こうした中、私たち同期有志による世話人による呼びかけを行うことで、少しでも多くの同期生が母校に集うことができると思っています。当日は、多くの同期生と心に残る有意義な楽しい一時となるよう、準備を進めております。お知り合いの方にも是非お声掛けのうえ、多くの参加をお願いします。

世話人（50音順）

後藤 祐子（外国語学部）  
 阪本 淳（法学部・川北靖之ゼミ）  
 高橋 信吾（経済学部・射撃部）  
 田中 裕一（経営学部・渡辺利得ゼミ・全学応援団リーダー部）  
 中川 充生（法学部・月川倉夫ゼミ）  
 野崎 敏昭（法学部・月川倉夫ゼミ）  
 藤田 耕三（法学部・中埜ゼミ・英文タイプ研究会・追分寮）  
 安田 輝好（理学部・前田憲一ゼミ）  
 安原 良一（経営学部・柔道部）